

# 平成 28 年度 学校評価計画

小美玉市立下吉影小学校 校長 青葉 宏一

## 1 学校教育目標

郷土に誇りをもち、確かな学力を身に付け、心豊かで、心身ともにたくましい児童を育成する。

【教育スローガン】「知・徳・体 バランスのとれた教育活動の実践」～今日が楽しく明日も楽しみな学校づくり～

## 2 目指す学校像, 児童・生徒像, 教師像

学校像	<input type="checkbox"/> 誰もが安心して安全に過ごせる学校 <input type="checkbox"/> 一人一人の人権が尊重され 心を豊かに育む学校 <input type="checkbox"/> 楽しく わかる授業が展開される学校
児童・生徒像	<input type="checkbox"/> よく学ぶ子 <input type="checkbox"/> 思いやりのある子 <input type="checkbox"/> 健康で明るい子
教師像	<input type="checkbox"/> 子どもを思いやる人間性豊かな教師 <input type="checkbox"/> 使命感に燃え 研鑽に励む教師 <input type="checkbox"/> 判断力があり変革に対応できる教師

## 3 学校の現状

- 本校は、普通学級 6, 特別支援学級(知) 1, 全校児童 79 名の小規模校である。自然豊かな環境にあるが、航空自衛隊「百里基地」に隣接しており、練習機等の飛行による騒音が響くことがある。施設は近代的であるが、校舎が現在地に設置されて 13 年目を迎え、修理を要する箇所も出てきている。
- 「児童」については、素直で優しい気持ちをもった子が多い。また、4 年生以上の児童たちは、3 つの実行委員会(稲作, ミュージカル, 運動会)に所属しており、責任をもって自分の役割を果たすことができる。
- 「教師」については、年齢構成(若手教員, 中堅教員, ベテラン教員)のバランスがよく、互いに学びあう雰囲気がある。また、常に子どもと向き合い、熱心に教育活動に取り組んでいる。
- 「保護者・地域」については、協力的で、学校行事やボランティア活動等に積極的に参加する方が多い。

## 4 前年度の成果と課題

- 学力の向上と教師としての力量の向上  
平成 27 年度の校内研修において、授業を通して思考力・判断力・表現力を高めるための指導法の工夫を重ねてきた。その結果、昨年度の県学力診断テストでは、国語・算数とも、3・4・5・6 年とも、昨年度より上回っている。5・6 年の国語科では、「書くこと」「読むこと」に関する正答率が高いが、3・4 年では、読み取る力に課題があるので、丁寧に読み取る活動を充実させ、授業改善をしていく。
- 豊かな心の育成  
道徳の時間や体験活動を通して道徳的心情・態度の育成に努めた。また、「下吉しぐさ」の取組を実行委員会の児童を中心に活動し学校の活性化につながった。今年度も児童の自主性が育つ活動を展開していく。
- 体力の向上  
「ふれあいタイム」(業間・縦割り班遊び), 放課後遊び等, 遊びを通して体力づくりに努めた。学年によって運動能力に差があるので、学期ごとに児童の体力の変容を見て、指導していく。
- 開かれた学校づくり  
毎年、稲作づくりや下吉祭りでは、多くの学校ボランティアの方々に協力をいただき、学校行事を運営することができている。

## 5 組織目標

番号	内 容	実施期間				
		25	26	27	28	29
1	授業力を高め、児童主体のわかる授業を実践する。また、基礎・基本の定着と併せて考える力を高め、学力の向上を図る。		○	○	○	○
2	道徳や特別活動の時間を工夫し、道徳性の育成に資する体験活動の充実を通して、豊かな心を育成する。		○	○	○	○
3	体育の授業や体育的行事を充実させるとともに、業間運動や外遊びを奨励し体力の向上を図る。		○	○	○	○

# 平成 28 年度 学校自己評価書

小美玉市立下吉影小学校 校長 青葉 宏一

## 1 今年度の取り組みの概要

- 児童が主体的に学習するわかる授業の展開を工夫し、確かな学力の定着を図る。
- 豊かな人間性を育むため、他人を思いやる態度の育成を図る。
- 健康と体力の増進のため、運動に親しむ資質や能力及び体力の向上を図る。5
- 一人一人の人権を尊重し、安心して安全に過ごせる環境づくりを推進する。
- 保護者・地域の教育力を活用し、学校教育内容の充実・向上を図る。
- 小規模校のよさを継続し、一人ひとりを大切に教育活動を推進する。

<達成度 A:十分に達成 B:おおむね達成 C:達成せず D:課題が残る>

### ◎ 組織目標 1 についての具体的な取り組み

組織目標 1	授業力を高め、児童主体のわかる授業を実践する。また、基礎・基本の定着と併せて考える力を高め、学力の向上を図る。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校評価アンケートで、児童が「授業がよくわかる」と答える割合が90%以上を目指す。</li> <li>○ 各教科の単元テストの平均正答率(国・算・理・社)80%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実践する。また、体験的な理解,繰り返し学習を重視し,学力の向上を図る。(低学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実践した。「授業がよくわかる」と答える児童は90%に届かなかったが,各教科の単元テストの正答率はほぼ80%を超えた。</li> </ul>	A
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実践する。低学年の既習事項を生かし,体験的な理解,繰り返し学習を重視し,学力の向上を図る。(中学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実践した。「授業がよくわかる」と答える児童は90%に届かなかったが,各教科の単元テストの正答率はほぼ80%を超えた。</li> </ul>	B
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実践する。低・中学年の既習事項を生かし,思考力・判断力・表現力等を育み,学力の向上を図る。(高学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ・ラーニングを取り入れ,子ども同士の学び合いを心がけた。「授業がよくわかる」と答える児童は90%に届かなかったが,各教科の単元テストの正答率はほぼ80%を超えた。分かる授業を展開できるよう児童主体の授業を心がけたい。</li> </ul>	B

### ◎ 組織目標 2 についての具体的な取り組み

組織目標 2	道徳や特別活動の時間を工夫し、道徳性の育成に資する体験活動の充実を通して、豊かな心を育成する。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校評価アンケートで、児童が「学校が楽しい」と答える割合が90%以上を目指す。</li> <li>○ 学校評価アンケートの「豊かな心の項目」において、児童が「5 決まりや約束を守ってみんなと仲良く生活できる」、「6 自分もみんなも大切にし、いじめをしない」、「7 学校行事に進んで参加し、協力できる」と答える割合が90%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成的グループエンカウンターの実施や児童の実現状況の評価の工夫を行うことにより、豊かな心の育成を図る。(低学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に一回程度グループエンカウンターを実施し、人間関係を育成するようにした。行事をはじめ、特別活動で活躍する場を設定し、自己肯定感が高まるようにすることで、豊かな心育成を図った。</li> </ul>	A
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間や係活動を通して、協力して活動する楽しさや大切さを指導し、よりよい人間関係を作ることができる児童を育てる。(中学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳コーナーを作り、思いやりの気持ちを育ててきた。係活動を楽しくしている児童が多い。</li> <li>・学校行事については、アンケートの結果から90%には達していないが、協力して活動できていた。</li> </ul>	B
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り班や清掃、委員会や実行委員会の中心となり、児童一人ひとりが高学年としての自覚をもち、主体的に取り組み、思いやりや助け合いの心を育てる。(高学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年を通して様々な場面でリーダーとなり高学年としての自覚をもち活動した。「学校が楽しい」と答える割合や「豊かな心の項目」は、80%であったが、1学期よりも向上が見られ、豊かな心が育っている。</li> </ul>	B

◎ 組織目標 3 についての具体的な取り組み

組織目標 3	体育の授業や体育的行事を充実させるとともに、業間運動や外遊びを奨励し体力の向上を図る。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○ 体力テストのデータ結果から本校の落ち込んでいる項目(敏捷性、柔軟性、筋力等)について、学期ごとにデータを出し、その変容を把握する。	・体育学習カードの活用，課題のある運動の意図の実施，多様な動きをつくる運動遊び，外遊びの時間の確保により，基本的な動きを身に付け，体力の向上を養う。 (低学年)	・達成度を確認できる学習カードの効果的活用，課題のある運動の意図の実施，外遊びの時間の確保，目標を持って取り組む体力づくり運動等の実施により，着実に体力が向上した。	A
	・多様な動きをつくる運動の工夫，外遊びの奨励やサーキットトレーニングを通して，児童の主眼的な取り組みを喚起し，基本的な動きや技能を身に付け，体力を養う。 (中学年)	・授業でサーキットトレーニングを毎時間取り入れ，多様な動きを身に付けることができるようになった。外遊びや持久走や縄跳びにも自主的に取り組み，技能が向上し，体力がついてきた。	A
	・5・6年合同体育や体育的行事，学級での定期的な外遊びを通して，運動の習慣化を図り，主体的に取り組む態度を育て，体力の向上を図る。 (高学年)	・5・6年合同体育や学級での定期的な外遊び，体力アップ月間など運動の習慣化を図った。体力アップ月間を学期ごとに行い，児童の体力の推移を掲示し，体力づくりへの意欲を高めた。	A

## 2 今年度の成果と次年度に向けた課題

- 各学年とも毎週週案を発行し，授業内容や単元テストの平均点の結果を伝え，児童の学力向上を図ってきた。学力診断のためのテストの結果を見ると，算数では第4・5・6学年で，県平均を上回ったが，国語では第6学年以外は県平均を下回った。算数においては，基礎的・基本的な内容を丁寧に扱い，T・Tによる個別指導をしたことで四則の計算も技能が向上した。反面，数学的な考えをみる問題の正答率が低く課題がある。今後の授業においては，問題解決場面での話し合いを充実させ，考えや理由などの根拠を明らかにして論理的に考えたり説明したりすることができるようにする。国語では，書く力をみる問題の正答率が低く課題がある。国語の授業に限らず，自分の考えや読み取ったことをノート等にまとめてから発表する機会を多くすること，読み手に分かりやすい表現を工夫することを通して書く能力を高めたい。
- 意欲に関する目標では，「算数が好き」と答える児童が87.2%と目標の80%を超えた。これは，今年度算数に絞って校内研修を実施し，児童を引き付ける導入の工夫や協働場面を多く設けたことによる成果と考えられる。
- 学習に関するアンケート結果から，分かりやすい授業や学習内容の日常化を意識して取り組んできた成果が表れていると考えられる。「家庭学習の手引き」の活用率は，昨年度の60%から87.2%と高くなった。児童や保護者に対して，家庭学習の大切さを伝えてきた効果と考えられる。ただし，高学年の活用率が低いので，中学校に向けてより効果的な家庭学習方法を身に付けられるように指導していきたい。
- 校内研修では，「自分の考えをもち，他者との協働により考えを深める支援の在り方ー算数的活動や思考過程を大切にしたい算数科の授業を通してー」というテーマのもとで，課題提示の工夫や学習形態を工夫し授業改善を行った。今後も教師の授業力の向上と児童の学力の向上を目指していく。
- 縦割りでの清掃活動やその他の活動を通して，相手を思いやる気持ちや協力する態度が育ってきている。
- 相手の目を見て自分から先に進んであいさつできるように指導していきたい。

## 3 保護者や地域への皆様へ

- ・本校の教育目標は「郷土に誇りをもち，確かな学力を身に付け，心豊かで，心身ともにたくましい児童を育成する」です。今年度も継続して，小規模校のよさを生かして，一人一人を大切に全員参加型の教育活動を展開してまいりました。特に，今年は，大きく輝く人づくりの豊かな心の育成において，「ほめて伸ばし夢を育む教育」（キャリアアップ）を推進してまいりました。子どもたち一人一人の日常生活の中での成長を捉え，学校の友達や先生，保護者・地域の方々等による推薦を受け，認め励ましほめて伸ばすことに着目し，それを賞状「賛」にして表彰してきました。現在，児童昇降口の大掲示板の「こぶしの木」には，子どもたち一人一人の夢と表彰されたお子さんの名前と賞の内容を書いた葉でいっぱいになっています。来校の際には，是非，児童昇降口の大掲示板の「こぶしの木」をご覧ください。
- ・児童が各種実行委員会の委員長となり，稲作やミュージカル，運動会等において，下級生を引っ張り，リーダーシップを発揮できる，たくましい児童へと成長いたしました。また，学力においても，一人一人の個人差に応じた指導により，学力も向上しております。更なる向上のためには，家庭学習の習慣を身に付けることが大切です。学校でも，家庭学習の習慣化が図れるように，継続的に指導してまいりますので，ご家庭でもご協力をお願いいたします。
- ・昨年度に引き続き，歯みがき指導に力を入れてきました。今年度は，全学年対象の親子歯科教室を開催し，学童期の歯の健康について学習しました。治療率は，現在のところ，54.3%です。今後も歯と口の健康の大切さを児童や保護者の皆様に伝え，虫歯ゼロを目指していきたいと思っております。
- ・今後も情報の収集や発信を通して，開かれた学校づくりを目指していきたいと思っております。保護者や地域の皆様には，より一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

